1 くらべる力 —— 対比関係を整える①

1 次の（1）～（3）の文章の——部は、対比関係が乱れています。それぞれの〈修正方法〉に従って、文章全体を書き直しなさい。

（1）さいころを二回ふって、たとえば六・六などと出ると、とても低い確率のように思える。
でも、たとえば二・五などと出ても、特に何とも思わない。

〈修正方法〉2文めの——部を、1文めの——部に合わせて変える。

（2）班長くらいなら、あまり責任は重くない。
しかし、クラス代表ともなると、責任を持たなくてはいけない。

〈修正方法〉2文めの——部を、1文めの——部に合わせて変える。

（3）ぼくは絵が苦手なので、紙芝居の文のほうを担当するよ。
でも、きみは絵が好きなんだから、絵を担当してよ。

〈修正方法〉2文めの——部を、1文めの——部に合わせて変える。または、2文めの——部を、2文めの——部に合わせて変える。

●ポイント●

●パート3からは、ア・1・Aなどの型を表示しません。
自分自身でスラッシュ（／）を引き、パーツに区切り、型を意識しながら読むようにしましょう。

1(1) 月 日 評価 A B C 解説は140ページ
1(2) 月 日 評価 A B C 解説は140ページ
1(3) 月 日 評価 A B C 解説は141ページ

●ポイント●

●（1）～（3）いずれも、一部のパーツが対比的ではありません。
主に「対比の観点の統一」を意識して、修正します。

（1）とても低い確率のように思える ←?→ 特に何とも思わない
（2）あまり責任は重くない ←?→ 責任を持たなくてはいけない
（3）絵が苦手 ←?→ 絵が好き

観点を統一するためには、反対語・否定表現を意識することが必要です。
「速い」の反対語は「遅い」。「速い」の否定表現は「速くない」。これが基本です。